



三方よし

藤枝市立藤枝中央小学校

レベルアップした運動会

校長 新村和彦

・わたしたちは、台風の日で負けちゃったけど、5年生たちが、「だいじょうぶだよ」とか言ってくれました。みつはちゃんが、「まだ運動会はあるよ。」と言ってくれたり、まひろちゃんが「だいじょうぶだよ。一生けんめいにやったからいいと思うよ。」と言ってくれたり、いろいろな人からやさしい言葉をかけてもらったのでうれしかった。

でも、いつも練習では、1位や2位だったから、はじめて3位になってよかった。(3年 増田稟央)

・ハッピータイフーンをやっていたときに、青組のみんながおうえんしてくれてうれしかったし、ちがう学年がやっているときはおうえんしないと思った。

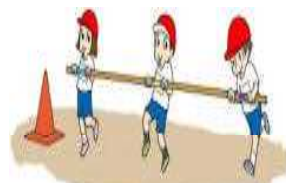
ハッピータイフーンで負けちゃったけど、5年生が「3年生は、負けちゃったけど、わたしたちががんばるからね。」と言ってくれてうれしかった。

あと、ハッピータイフーンはきょうりよくしないとだめだなと思った。だって、2人のいきががあわないとぼうがななめになっちゃうし、3人の時もチームワークがなかったら、台風の目みたいにまわれないから、チームワークがひつようだなと思った。(3年 藤田りな)

・赤組や黄組や青組もたくさんたくさんれんしゅうしていいなと思いました。全組本気だなと思いました。ハッピータイフーンで負けちゃったけど、5年生がなぐさめてくれておうえんしてくれました。さいごに、ぎゃくてんできて勝てたから、おうえんっていいなと思いました。(3年 伊久美希)

今年の運動会は、感染症対策のために平日、午前中開催、学年対抗リレーはなし、無観客、オンデマンド配信と例年とは違った運動会となりました。

当日は、無観客、そしてどんよりとした曇り空ということで盛り上がり欠ける運動会になってしまうのではと少し心配しましたが、全くの杞憂に終わりました。感染症対策のため全力で声は出せませんでした。子どもたちの工夫を凝らした応援、勝利にこだわる団体競技への取組、一生懸命に走った徒競走、責任感をもって働いた係の仕事(5・6年生)など、子どもたちの素敵な姿を随所に見ることができました。その中で、特に素敵だなと思った場面を紹介します。



3年生の団体競技「ハッピータイフーン」は、いわゆる「台風の日」という名称で、1本の棒を数人で持って走り、いかにコーンを早く回って次の人に棒を渡すかというリレー競技です。私が練習を見ているとき、3年3組は、いつも1番でした。負けた場面を見たことがありませんでした。しかし、勝負は時の運です。練習では連戦連勝の3組は、本番ではまさかの3位という結果に終わってしまいました。よほど悔しかったのか、応援席に戻って多くの子が涙を流していたそうです。その姿に5年生が声をかけたり、背中をさすって慰めてくれていたということを担当の先生から聞きました。その時の5年生の声かけの言葉が、上の作文に出てくる言葉です。

「まだ運動会はあるよ。」「だいじょうぶだよ。一生けんめいにやったからいいと思うよ。」「3年生は、負けちゃったけど、わたしたちががんばるからね。」

その声かけどおり、青組の5年生は、綱引きで優勝しました。思いやりあふれた有言実行の5年生、かっこいいです。また、悔し涙が出るほど一生懸命に練習した3年生も素晴らしいと思います。きっと、この他にも運動会の最中、素敵なドラマがいろいろあったのではないかと思います。

勝っても負けても、一人一人がレベルアップした「三方よし」の運動会でした。

※子どもたちの活躍の様子は、オンデマンド配信で是非ご覧ください。※画質が少し良くないというご指摘がありました。申し訳ありません。(～11月23日まで配信)